

# 炭谷の2発6打点

## 18安打で西武大勝

西武の捕手、炭谷は高卒ルーキーからぬ沈着冷静なリードと強肩で、伊東監督をうならせていた。北九州に東り込んだプロ4戦目、初本塁打が満塁ホームラン。さらにランも放って一挙に6打点。この日も指揮官は「度肝を抜かれた」と目を丸くした。

一回の第1打席は、5番稲田からの3連打で迎えた無死満塁。ソフトバンクの新人外国人カラスコの速球をたたく、左翼席に運んだ。「打った瞬間は機嫌よく決まっていた」と思った。気持ちいい。「言葉も弾む」。

六回は変化球の水田から。今度は変化球を待っていた。「きれいにヒットです」。

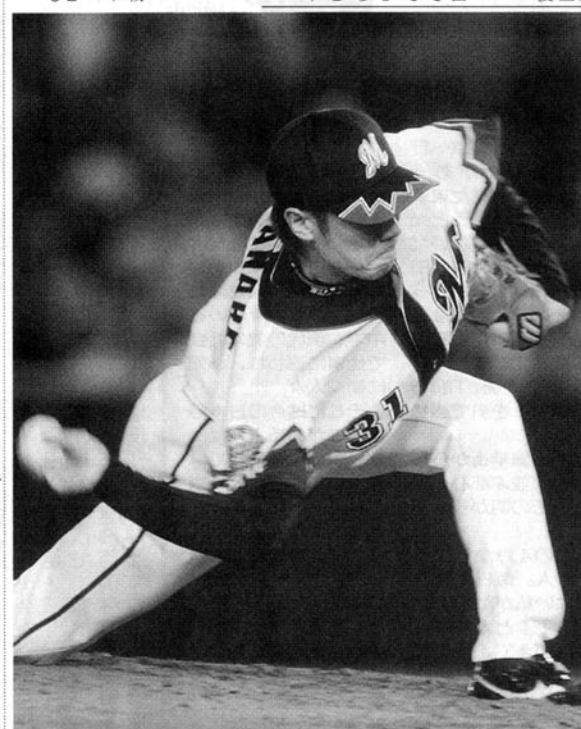
このファンが多いので、歓声がなみりかと思われた。

高卒新人の満塁ホームランは、98年の清原(当時西武)以来。同様の新人(当時巨人)が打った。肩を並べる形になった先輩たちの顔触れが、感慨を求められた炭谷は「そんなあんな、思い切ったプレーをしたい。無邪気な18歳の笑顔がたまらぬ」とも話した。

# 打ってもすごい18歳捕手

## 渡辺俊好投 ロッテ連勝

ロッテ日本ハム2回戦(ロッテ勝)6時16分、千葉マリンスタジアム、八幡川。投手、渡辺俊好(18歳)が、先発投手として、1回から10回まで、10打者すべてをアウトに打ち、10連続アウトを記録した。これは、プロ野球史上初の連続アウト記録である。



【ロッテ-日本ハム】力投するロッテ先発の渡辺俊

## 楽天は4連敗

楽天は、ソフトバンクとの対戦で、4連敗を喫った。先発投手の渡辺俊好は、1回から10回まで、10打者すべてをアウトに打ち、10連続アウトを記録した。これは、プロ野球史上初の連続アウト記録である。

## 早実 譲らず再試合

早稲田大学は、関西大学との対戦で、再試合を要求した。理由は、試合中に怪我をした選手がいたためである。



肩車され、大関昇進を喜ぶ白鵬

## 21歳大関白鵬が誕生

### モンゴル出身では2人目

日本相撲協会は29日、大関昇進を喜ぶ白鵬(21歳)と、大関立役者として、大関昇進を承認した。白鵬は、モンゴル出身の2人目の大関である。

## あと一つ上がある

白鵬 こんなに早く大関になるとは思わなかった。日本語を早く覚えたのがよかった。けいこで言っていることが分かるようになって、相撲が楽しくなった。気持ちの面で強くなって大きな相撲を取れば、大関の地位を守れる。あと一つ上がある。チャンピオンになりたい気持ちがある。心技体の心が充実したら優勝は近い。

## 横綱の素質がある

北の湖理事長の話 白鵬 一致で昇進を承認した。気持ちを締め、横綱を目指してほしい。また21歳、角界入りして5年で大関に上がったのだから、それだけの素質を持っている。

## G大阪3勝目

G大阪は、第4節の試合で、3勝目を挙げた。これは、チームにとって重要な勝利である。

## 玉田・久保が2トップ先発

サッカーの日本代表は、玉田と久保が2トップ先発を務める。これは、チームの攻撃力アップに貢献する見込みである。

## 八重山商工 猛追及ばず

八重山商工は、対戦相手の猛追を及ばず、勝利を収めた。これは、チームの士気を高めることに貢献した。

## 第8日の日程

第8日の試合日程は、以下の通りである。各試合の開始時刻と会場は、以下の通りである。

## 岐阜城北が乱戦を制す

岐阜城北は、対戦相手の乱戦を制し、勝利を収めた。これは、チームの守備力アップに貢献した。

## 先発投手の名前 毎日記者漏らす

毎日記者が、先発投手の名前を漏らした。これは、チームの戦略に悪影響を及ぼす可能性がある。

## 早実・斎藤投手

早稲田大学の斎藤投手は、対戦相手の早実投手と対戦した。これは、両投手の対決に注目が集まっている。

## 231球が意味するもの

231球が意味するものは、選手への安全・健康への配慮である。これは、プロ野球界の常識である。

## 先発投手の名前 毎日記者漏らす

毎日記者が、先発投手の名前を漏らした。これは、チームの戦略に悪影響を及ぼす可能性がある。

## 部活と「進学」

部活と進学は、両立させる必要がある。これは、学生生活の充実と進学への準備に貢献する。

## 早実 譲らず再試合

早稲田大学は、関西大学との対戦で、再試合を要求した。理由は、試合中に怪我をした選手がいたためである。

## 関西追いつく

関西は、対戦相手の追いつく。これは、チームの士気を高めることに貢献した。

## 先発投手の名前 毎日記者漏らす

毎日記者が、先発投手の名前を漏らした。これは、チームの戦略に悪影響を及ぼす可能性がある。

## 子どもスポーツ

子どもスポーツは、子どもの成長と健康に貢献する。これは、社会全体の発展に貢献する。